



“稼げる農業”めざす 農業振興について

議会改革ネットワーク ● 赤祖父 裕美 議員

問 米の直接支払交付金が平成30年産から廃止になります。湖南市農業の発展をどう考えていくのですか。

答 水稲から園芸にシフト転換をし、法人化へ向けての生産組織体制の構築、農産物の高付加価値化に向けた取り組みが急務です。農業指導や販路開拓の支援を図っていきます。

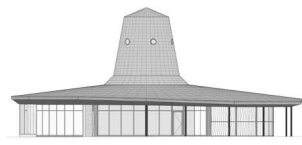
問 国の進める稼げるA-1農業に対する考え方は。

答 市内のほ場規模、農業経営の状況を考えそれに適合した取り組みが可能なのか、今後とも、県の情報を注視していきます。

問 「こびあ」の現状と建設予定農家レストランのコンセプトは。

答 こびあの当初売上目標には未達成ですが、建設予定の農家レストランを含む「みらい公園湖南魅力発信拠点施設」として、市民団体と連携を図り、意欲ある農業者を確保していきます。

点施設」として、市民団体と連携を図り、意欲ある農業者を確保していきます。



来年3月に建設予定の農家レストラン

市営住宅整備計画、跡地利用と自治会加入について

答 西寺団地は用途廃止の予定です。民間借上公営住宅などによる転居促進に努め民間譲渡していきます。自治会加入促進に努めていきます。

自転車と歩行者を分ける安全なまちづくり

答 平成25年道路交通法の改正もあつながら、幅員条件を確保しながら、地域にあつた手法で自転車や歩行者の安全確保に努めていきます。

ファミリーサポートセンターの 周知・活用を



議会改革ネットワーク ● 植中 みやこ 議員

問 ファミリーサポートセンターは、子育ての手助けをしてほしい人と、手伝いをしたい人の相互援助活動を、有料で行う会員組織です。託児場所の確保や、利用増に伴う対策は。



ファミリーサポートセンター
(平和堂甲西中央店3階)

答 平成28年度は、提供会員(手伝う人)85人、依頼会員(手助けしてもらう人)204人。利用回数は延べ562回で、前年より71.3%増えています。平日8時から18時の利用料金は、1時間700円です。依頼の多い地域や受けられなかったサービスを提供できる人などに絞って、提供会員を募集したい。相

談には、子育て支援コンシエルジュが丁寧な案内をするとともに、広報こなんなどでPRに努めます。

子どもに正しい姿勢を

答 姿勢の良し悪しは、子どもの成長や運動能力・学習能力などに大きな影響があります。昨年からは、学校での運動器検診が義務付けられ、背骨と四肢機能をあわせた検査をしています。教師にも、姿勢に着目した意識を啓発します。

河川氾濫時の避難対策と地域プラン

答 地域によって認識の差があるので、情報提供や出前講座など、積極的な支援をします。

文化財保護法の改正

答 改修などの許認可が早くなるが、専門的職員の配置・研修や、まちづくり・地域振興担当部局との共有が必要になってきます。